

48ページ

退魔の女

メス墮ち

モノクロ



私きりは桐原侑子
退魔師を生業なりにしている



退魔師
桐原侑子

今回退魔師協会の任務で
この廃ビルの調査に来ている



最近この辺りで異質な
妖気が流れている為
妖魔の溜まり場になっている
という情報だった



私の
今回最後の任務が...



気配が近い...

数ヶ月前

これを君に
受け取って欲しい

侑子、僕と

結婚して欲しい

誠司さん

でも私は・・・

君の仕事の事は知っている
特別な力を持つも者の使命
のため人の為に働いている君を
僕は尊敬している

しかし同時に
危険な仕事でもある

僕は怖いんだよ
君を失ってしまう事が
何よりも

僕と一緒に
新たな人生を歩もう

これからは
僕の隣りにいてくれないか

引退・・・ですか

ただでさえこの
業界は人手不足
だと言っているのに

あなた程の才を持つ
者が業界を離れるとは

残念でなりません

退魔協会理事

申し訳ありません

いえいいのです
あなたの人生ですから

他者がとやかく
言うことではありません

私は彼のプロポーズを受け

退魔の世界から離れ
一人の女として
幸せになるんだ

ここか・・・



これは

妖樹！

妖樹
その土地の
靈気を吸い取り
成長する害樹



とにかく
協会に連絡を

ズブ



誰かが植えて
育てているんだ

一体誰が...

何故こんな所に...
妖樹は今の時代自然に生えたりしない



!? な、なんだ
これは

妖樹の蔓か!



おや?

何が掛かった
と思えば



誰だ!?



人? いや

妖気を纏っている



!?



協会の退魔師か？
中々良い霊気を持つて
いるなあ

お前妖魔か？

この妖樹は
お前が植えたものか？

ああ、育てているんだ



まだまだ霊気が
足りなくってね

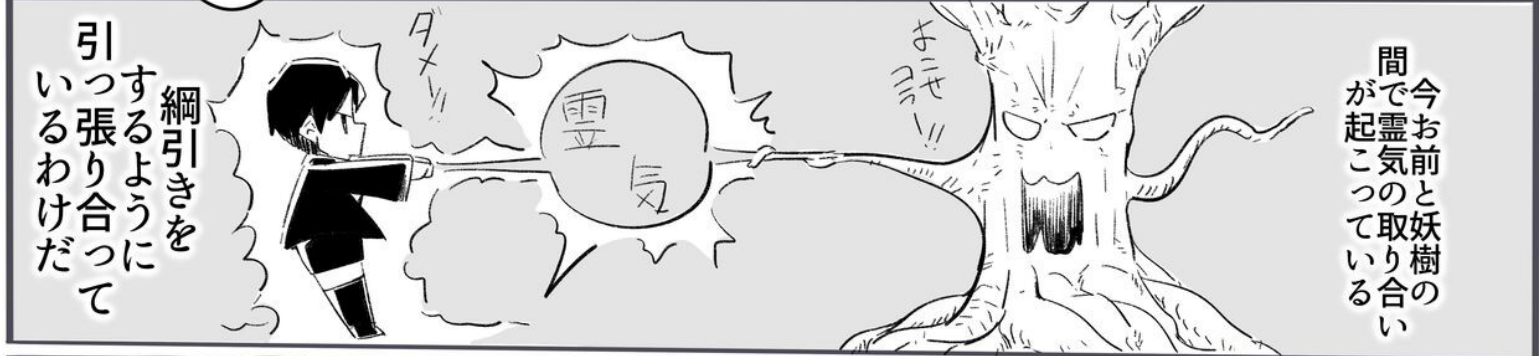
妖気を外に垂れ流して
腕利の退魔師誘ってみたが

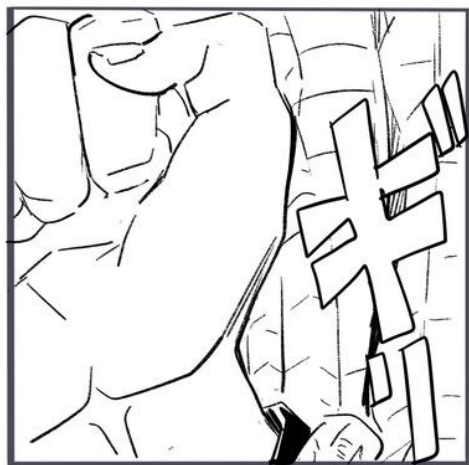
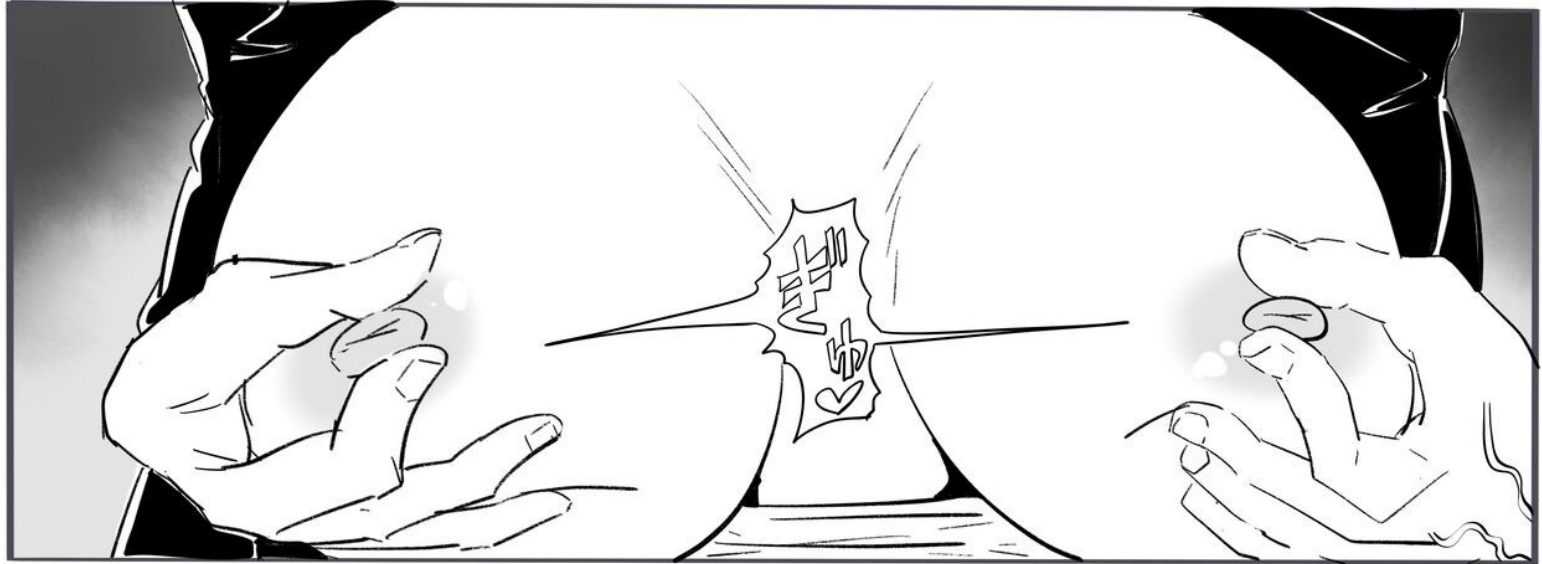
しまったか
罠だったか

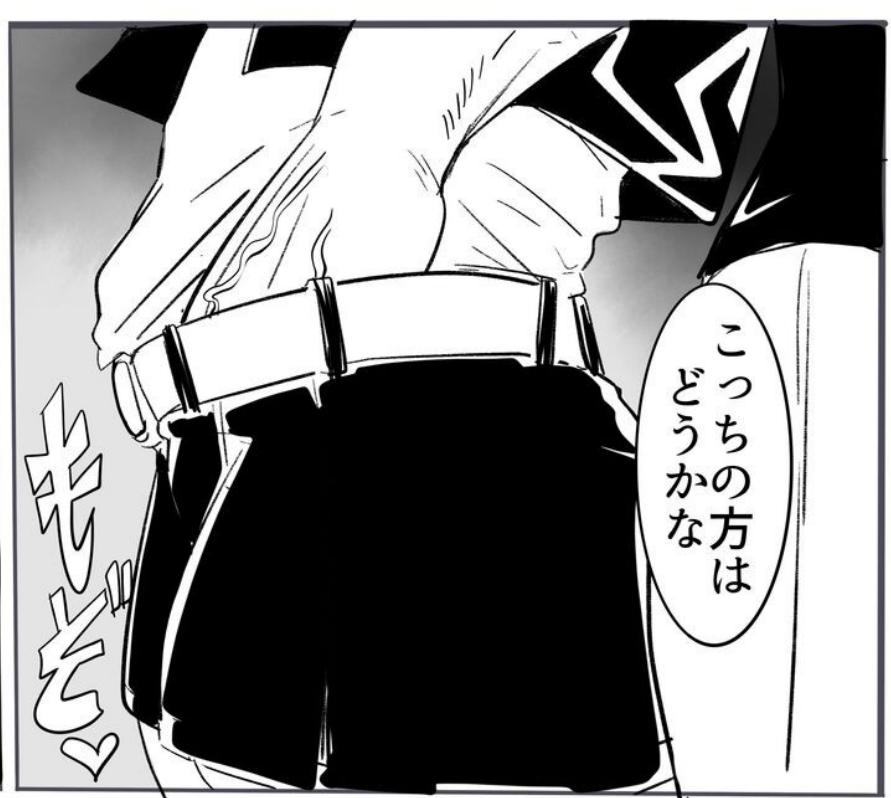


想像以上に
大当たりだ

!?







私の霊気が
どんどんどん
奪われて







悪いが限界まで
搾り取らせて貰うぞ

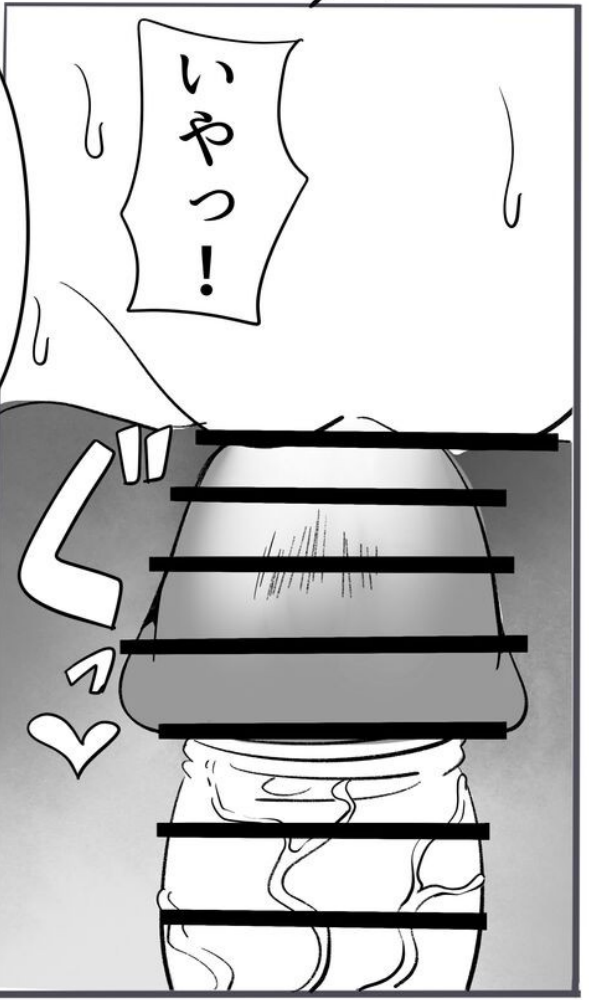
!?

妖樹の糧となれ



私には婚約者が...

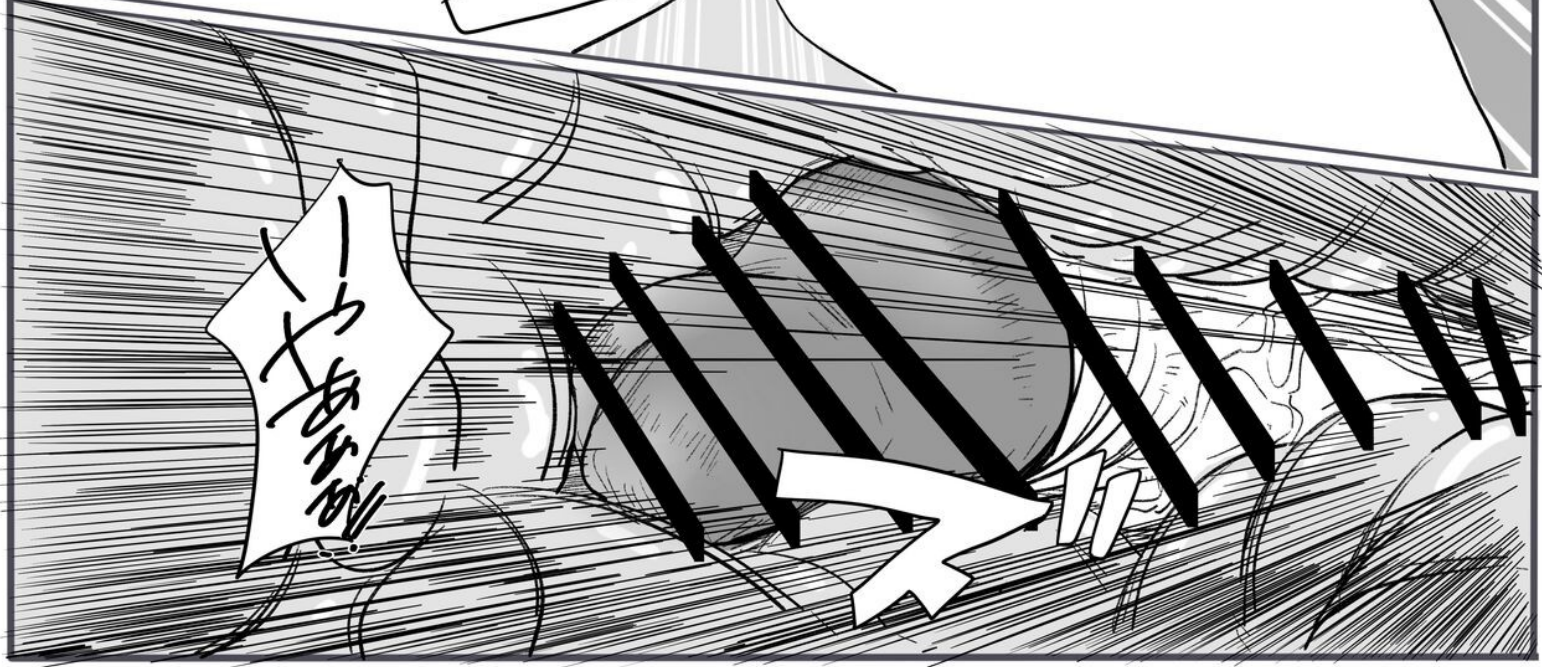
やめてくれ...



いやっ!



あああ
♡♡♡♡♡



うわ

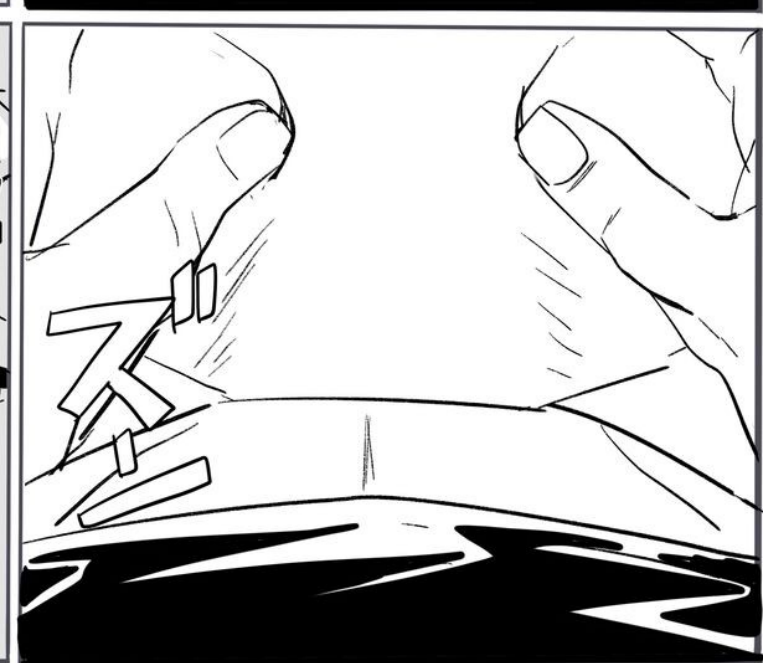
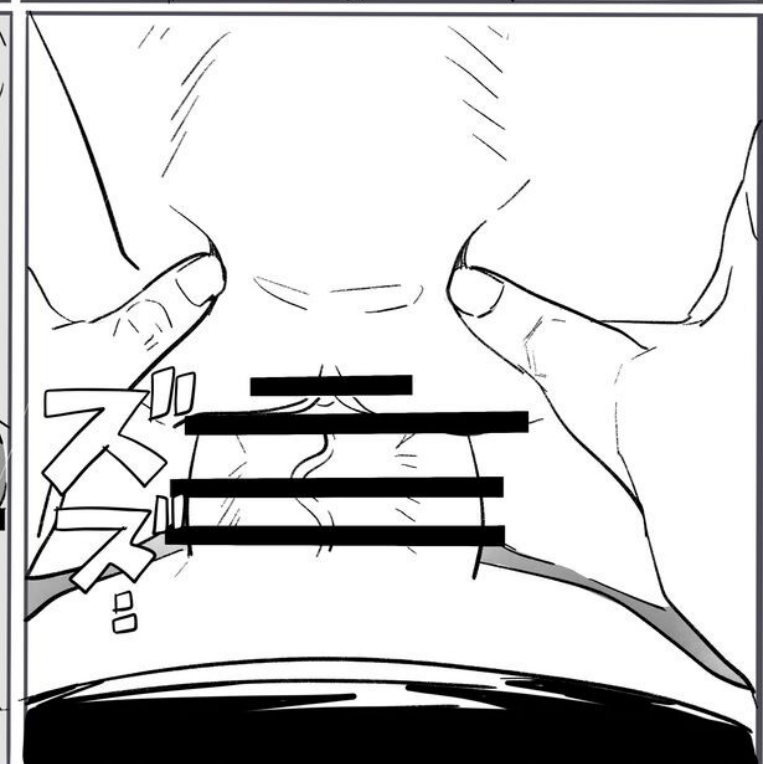
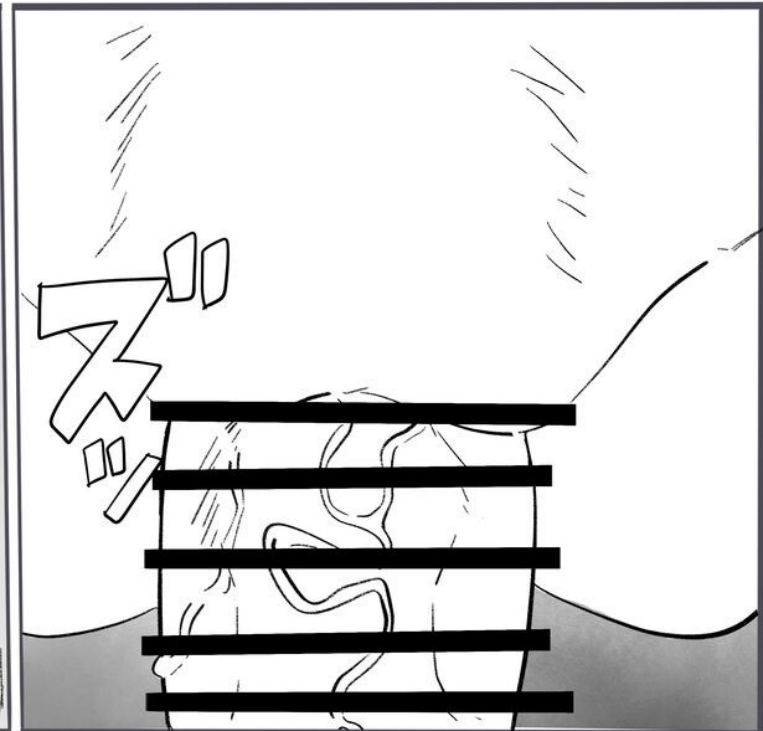


いぞ
もつとだ!もつと
絞り出せ!

抗わず
受け入れる

ズッ

ズッ







しかし



お前は



気に入ったぞ



骨の髄まで



ここで式を
挙げるのね

ああ
気に入ってくれたかい

ええとつても
素敵な場所



うふふっ

僕は君のウエディングドレス姿が
待ち遠しくって仕方がないよ

楽しみに待っててね♡

侑子の住む
マンション

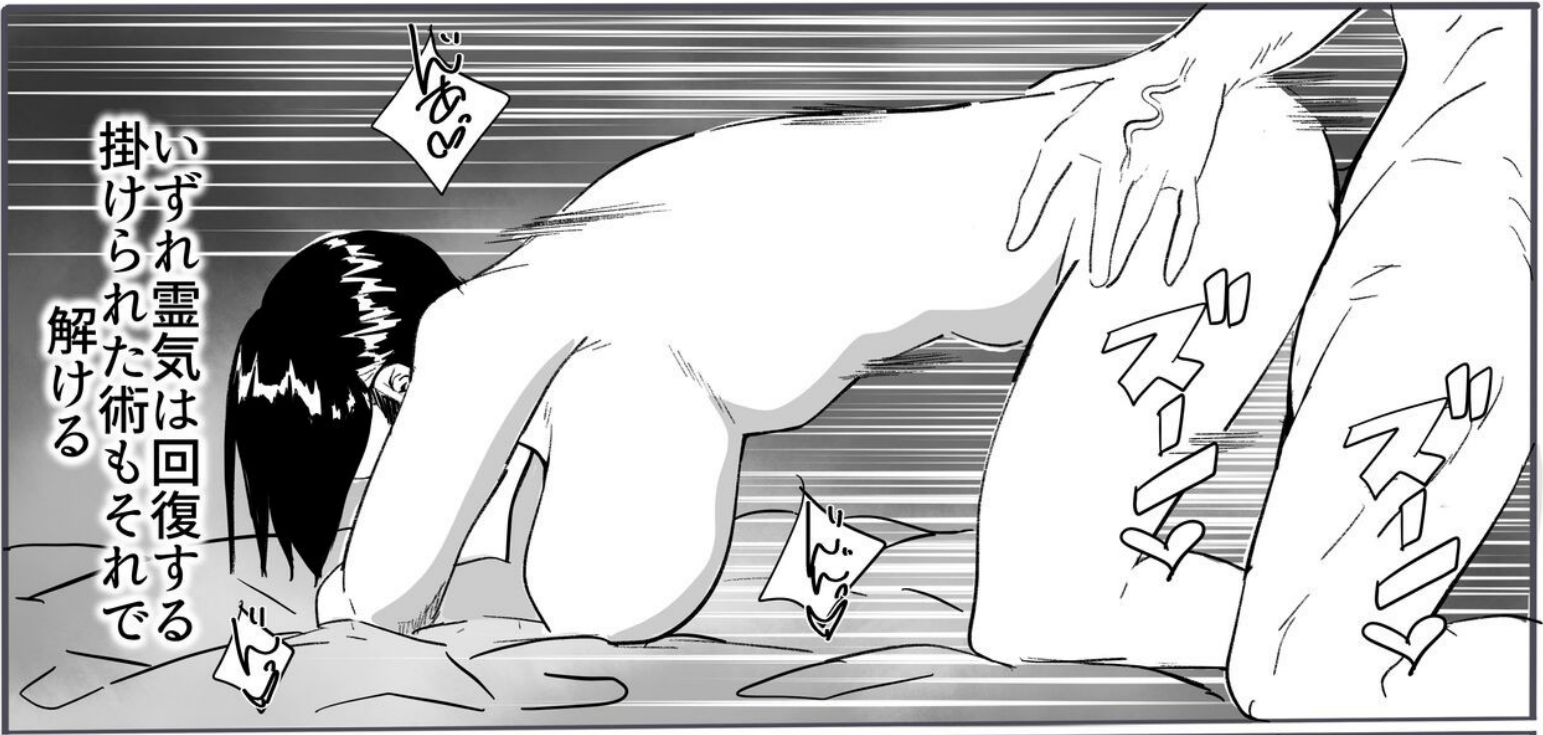
わからんな
お前程の価値のある女が

あんなつまらん
男と一緒にいるのか
理解できるのか

妖魔風情が
彼の悪口を言うな!

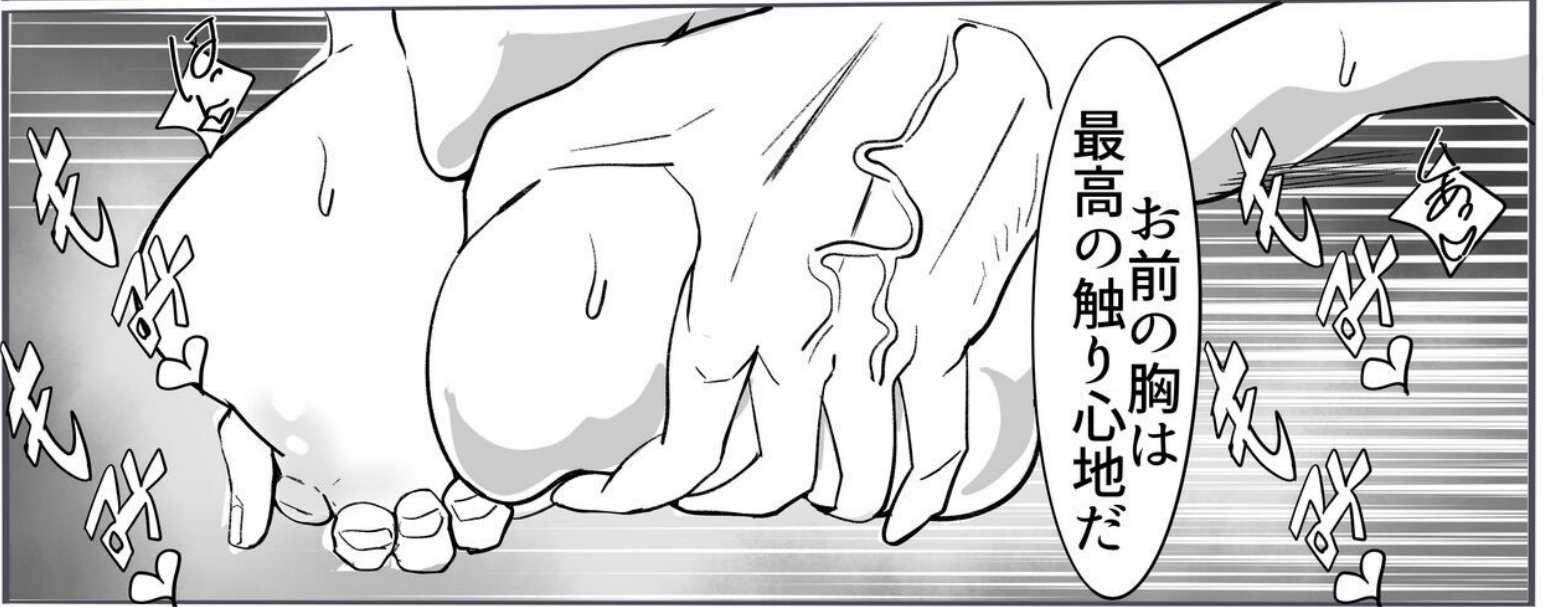
あの廃ビルの一事件以来
私はこの妖魔に強制隷属の
術をかけられ逆らう事が
出来ずにいた

普段ならこんな術には
掛からないのに
霊気を極限まで吸い取られ
絶頂で気を失っていた私は
術に抵抗する事が出来なかつた

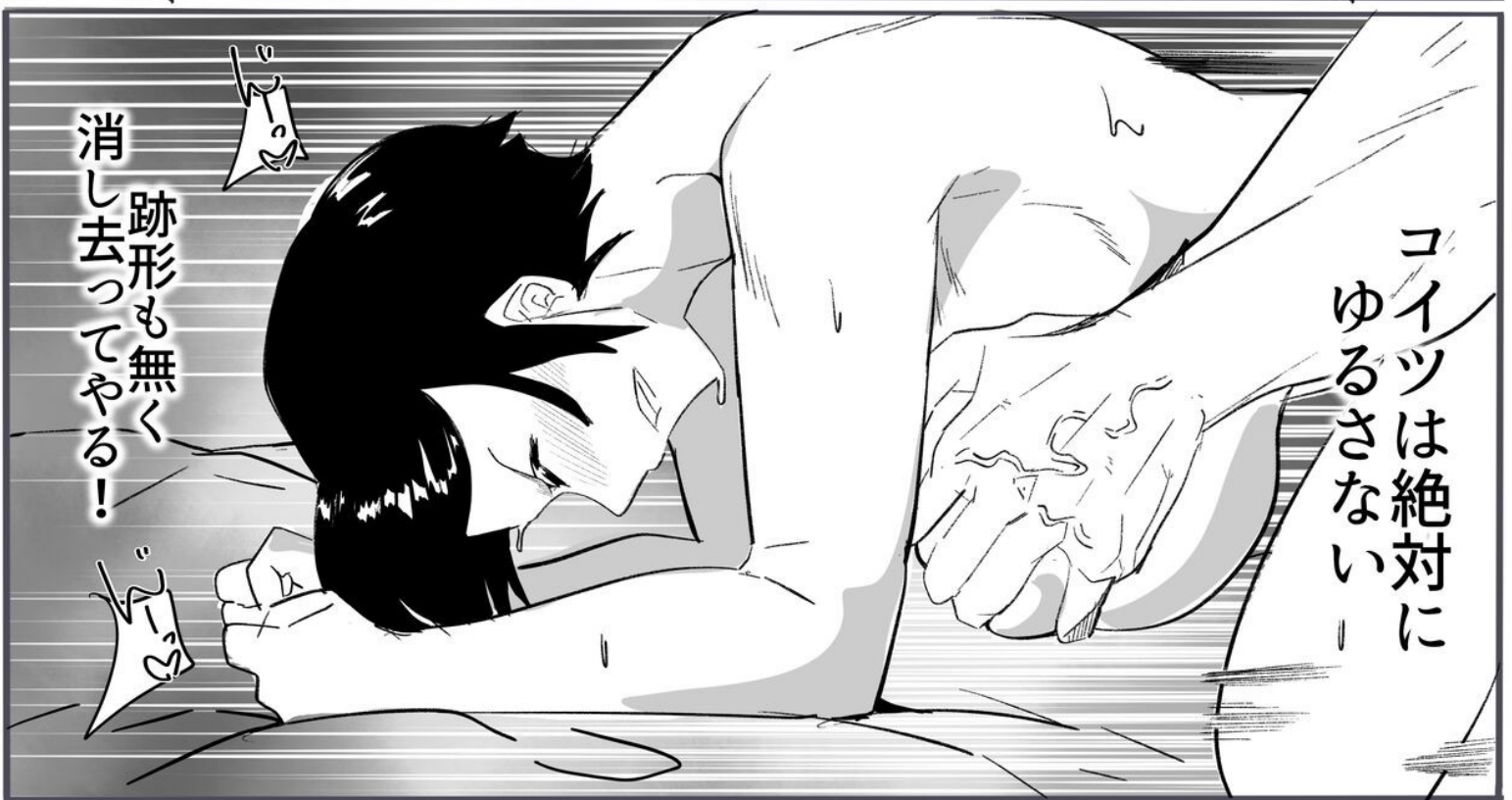


い
ず
れ
掛
け
ら
れ
た
術
も
そ
れ
で
解
け
る

い
ず
れ
靈
氣
は
回
復
す
る



お前の胸は最高の触り心地だ



消
し
去
っ
て
や
る
!

跡
形
も
無
く

コイツは絶対にゆるさない



それまでは

耐えるんだ

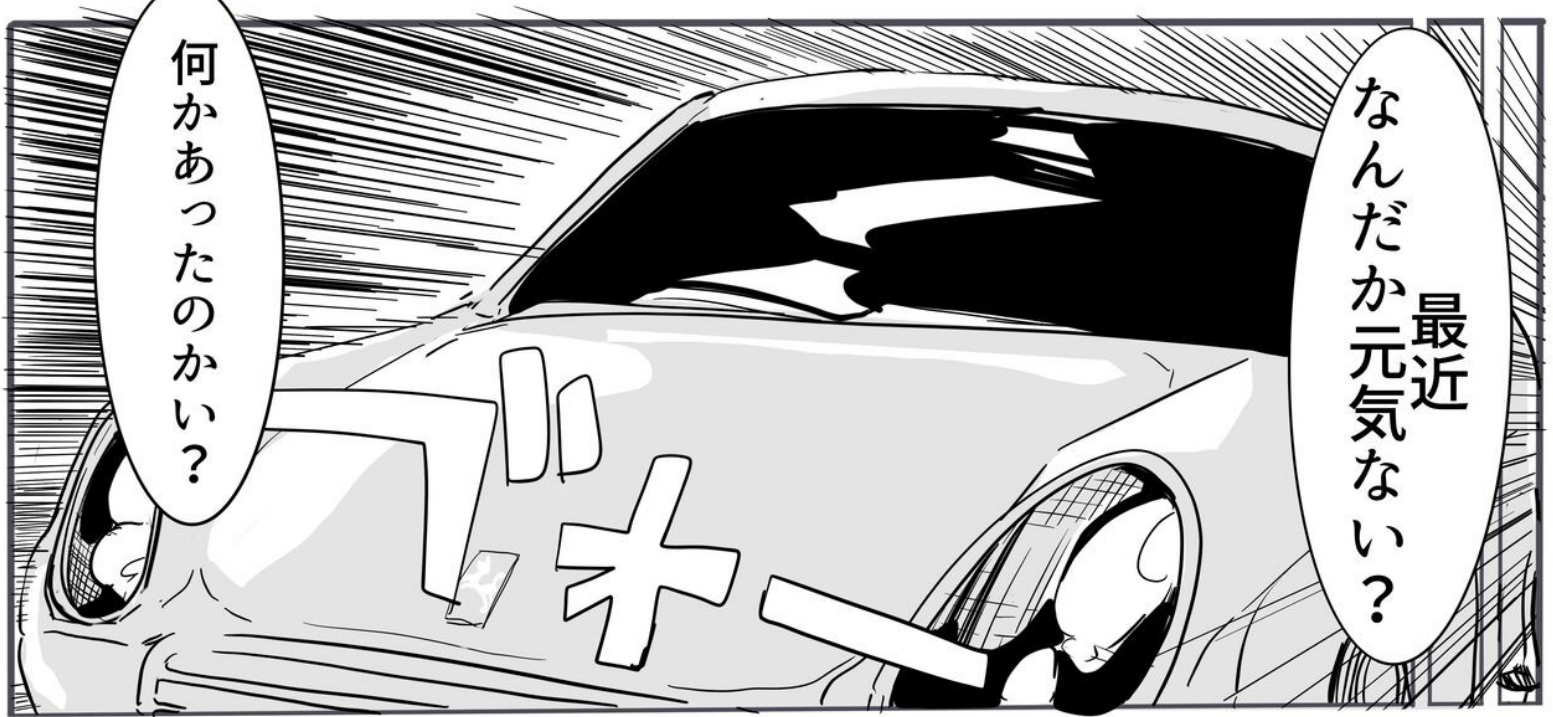


ケダモノめ
くそっ

ハッ

ハッ

ハッ



何かあったのかい?

最近
なんだか元気ない?



誠司さんが
側に居てくれれば私は

別に不安なんて



不安に思う気持ちは
わかるよ

もしかして
マリッジブルーって
やつかい?

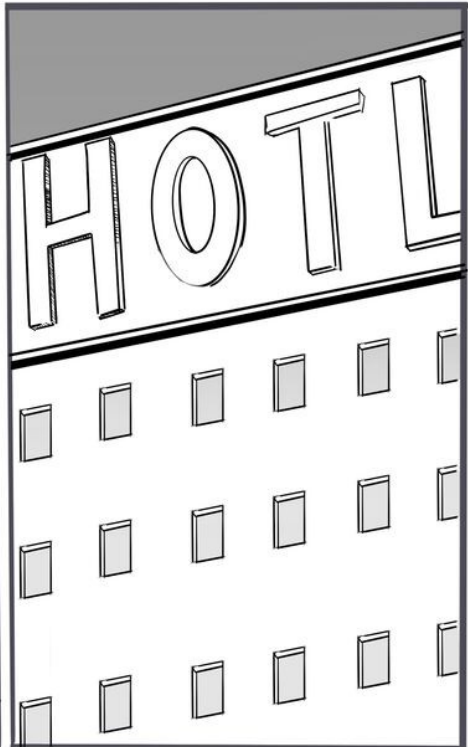


困った時や不安時は
助け合って行こう

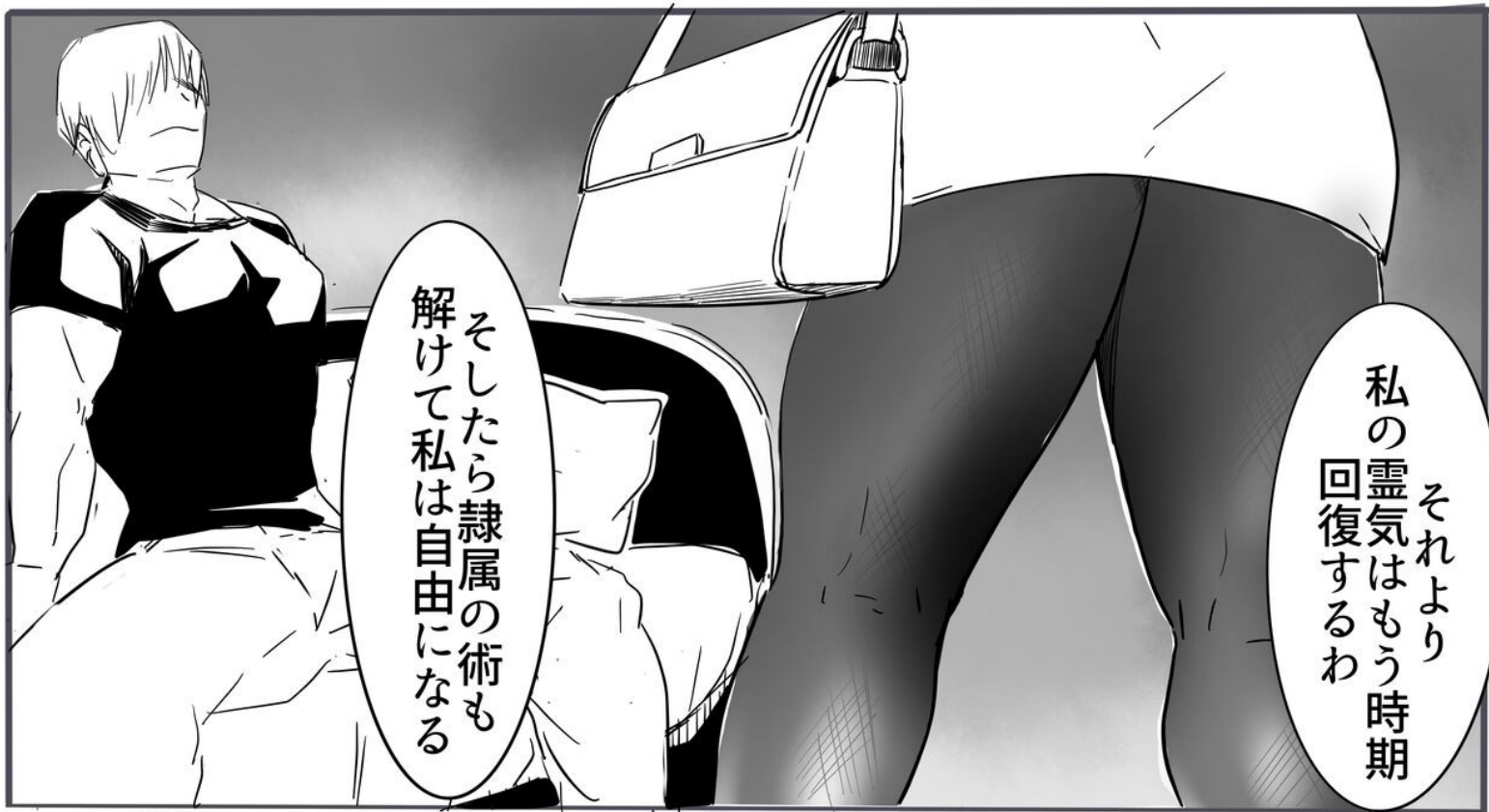


僕らはこれから
パートナーになる
この先の人生を長く共に過ごす

僕も侑子が
他に望むものは無いよ





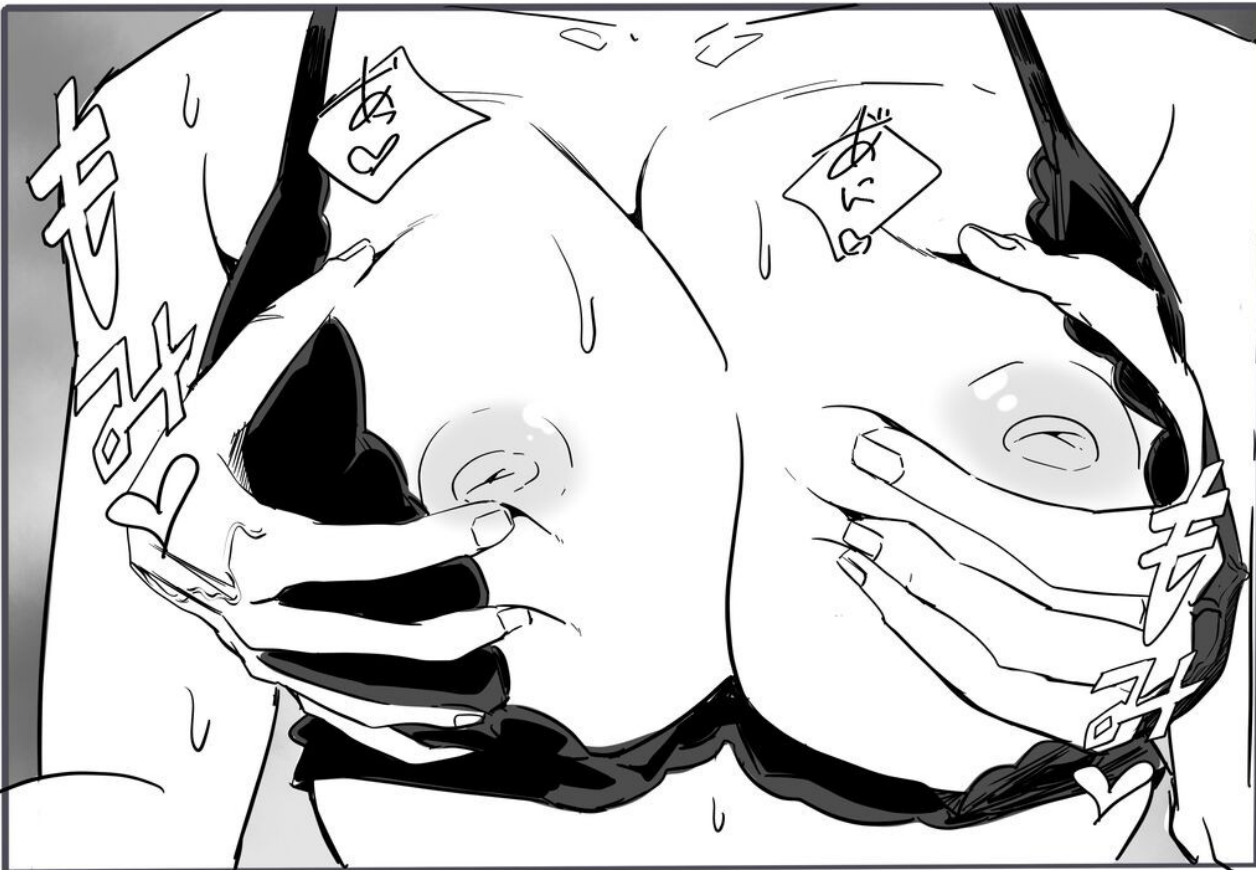




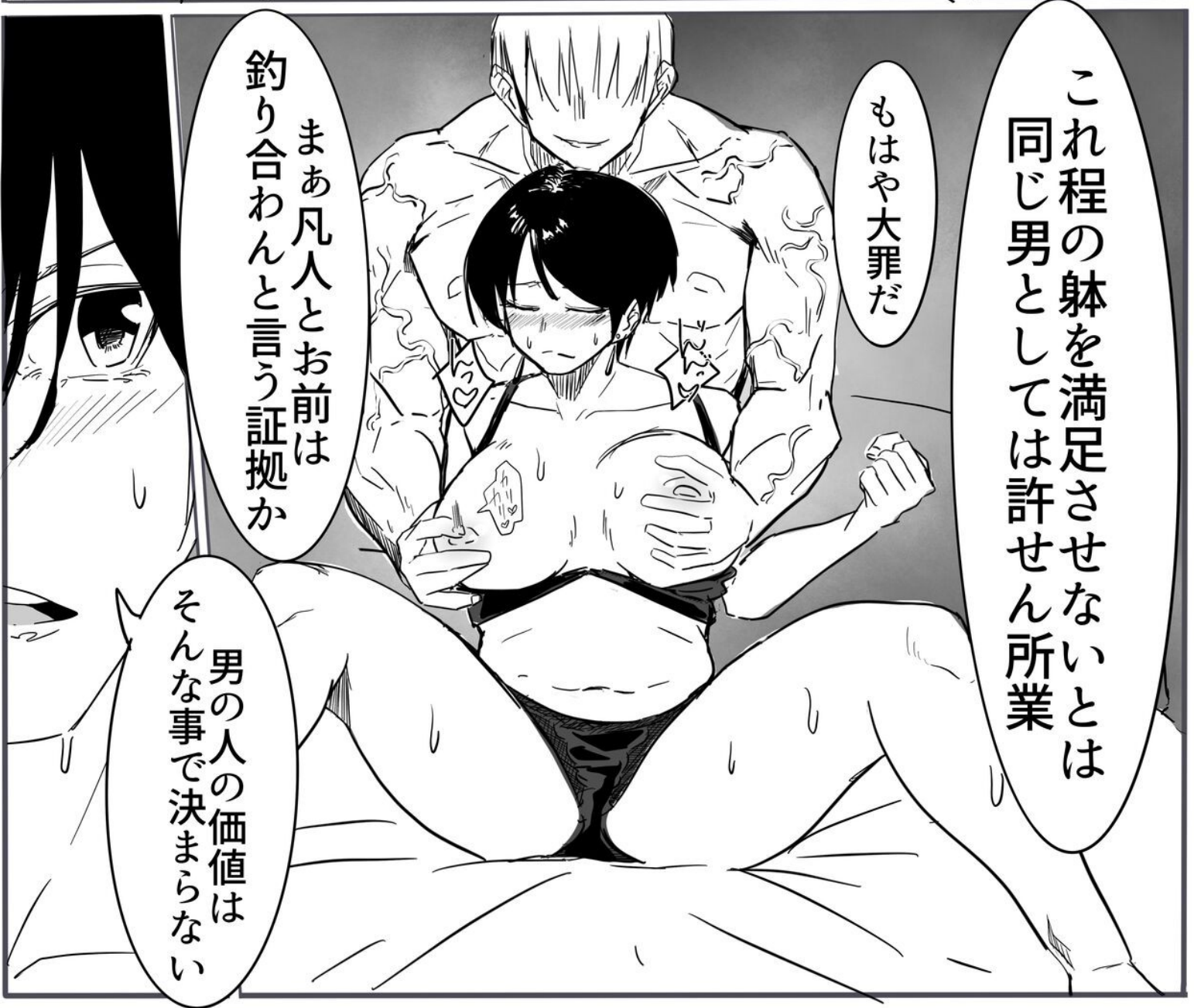
ではやられる前に

たつぷりと
貴様をあじわうとするか





どうせ婚約者には
イかせてもらえなかつたんだろう？



これ程の躰を満足させないとは
同じ男としては許せん所業

もはや大罪だ

まあ凡人とお前は
釣り合わんと言う証拠か

男の人の価値は
そんな事で決まらない



躰の相性が全て

男と女の関係など



決まるさ



心や
魂の

触れ合いなど

全ては

錯覚だ



唯一確かに

他者同士が
触れ合い交わえる
モノがあるなら

それは肉体以外に無い

快樂とは心では無く
肉の奥からくるモノだ

んっ♡

それ以外は全てが
勘違い

女の理想論は結構だが
現実を受け止めるべきだぞ

んっ♡

現にお前は

いやっ

あゝ♡

愛してもいない
俺の愛撫で躰を
震わせているじゃ無い

くは♡

ちがっ

んっ♡



肉体の相性

男と女はそれが全て・・・

鍛えられた
逞しい躰

彼とは違う

私を満たす躰



違うっ

そんな事

認める訳には



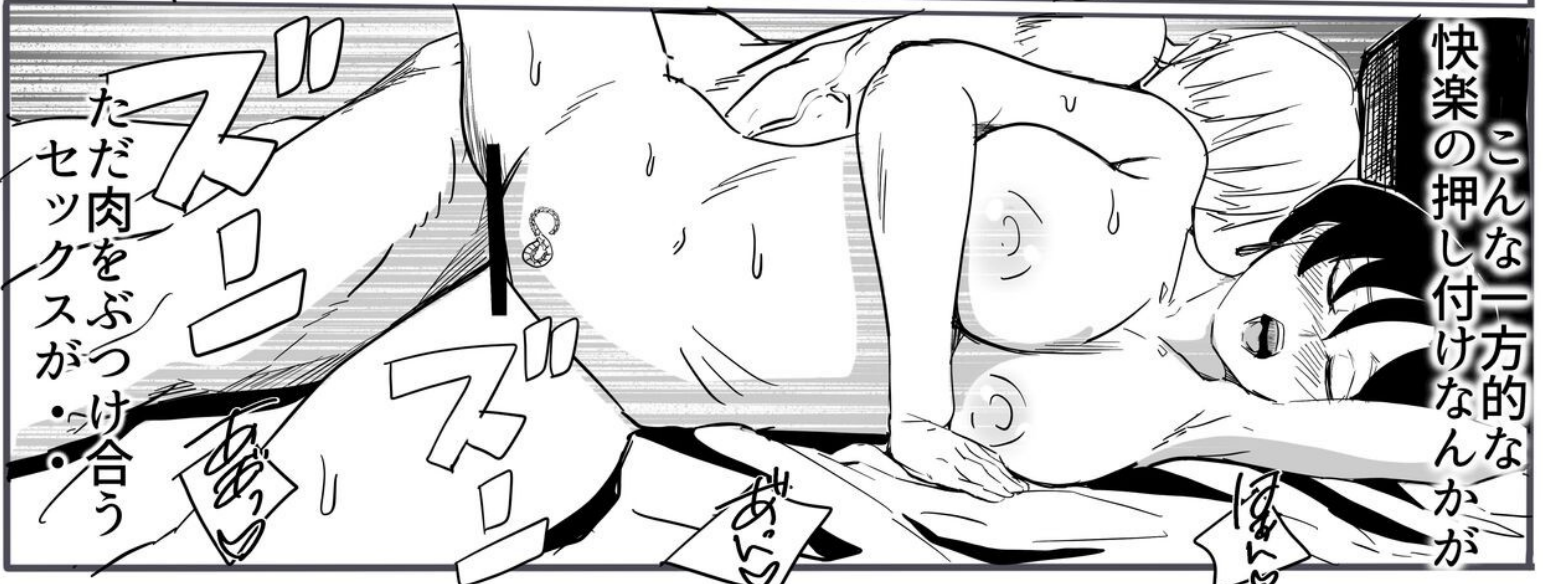
セックスは
お互いが好きあって

心を通わせて



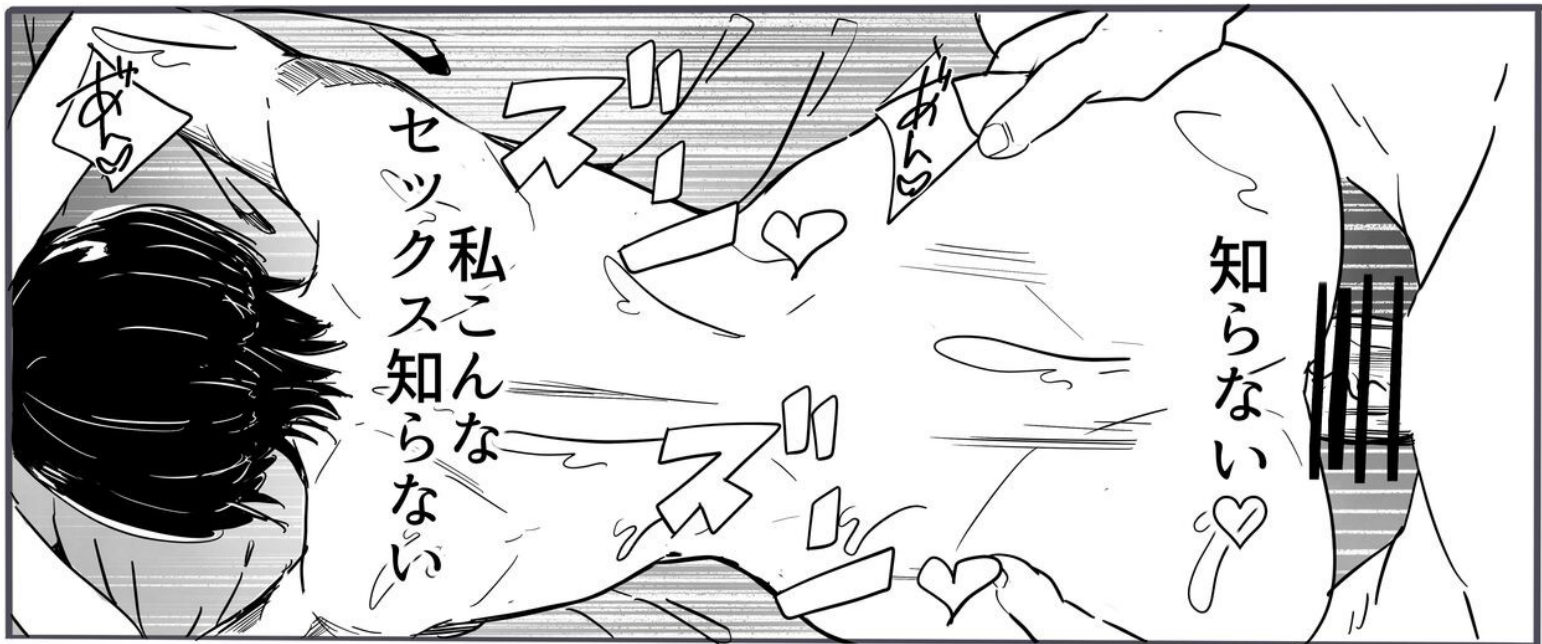
それで心も身体も
ポカポカする様な

そんな甘い夢の様な幸せの
時間のはず...



こんな一方的な
快楽の押し付けなんか

ただ肉をぶつけ合う
セックスが...



私こんなセックス知らない

知らない♡



こんな世界があつたなんて♡

こんなやつ♡



全然知らなかったの♡

知らなかった♡



彼とは全然違う♡

セックスって
こんな気持ちいい
モノだったの!?



高みに
連れていかれる♡

こんなすごい快樂
生まれてはじめて♡



腰が止まらない♡

腰が
止まらない♡



侑子気づいているか？

既に俺の術は
解けているぞ

俺を殺すんだろ？

はあ

はあ



・・・今は
そんな事どうでも
イイわ

そんな事より
続きをしましょう♡

はあ

はあ

♡

昔の話だ

その村は森に囲まれた
自然豊かな場所だ

ある時異彩を放つ一本の樹
になっていった果実を口にした

それが原因だろう

俺は妖気を
身に宿してしまっ

以来俺は半人半妖
として生きる事となる
あれからどれ程の時間が
過ぎたか...

何故また妖樹を
求めるの？

フューン
フューン

完全な妖魔に
なる為さ

人間に戻れず
妖魔になりきることもできない
この肉体

あの実を喰らい
続ければきつと
完全な妖魔に

その為には
お前が必要だ

良質で莫大な
霊気を持つ貴様が

俺に協力しろ
悪いようにはしない

勿論タダでとは
言わん

報酬は払ってやる
躰でなあ

凡夫には満たせない
お前の躰



びりびり♡

満たす事が
できる

俺だけが



イクっ!
イカされる♡

渴いている
貴様の肉を







ごめん・・・今
よく聞こえなかった

なんて言ったのか
もう一度・・・

ですから
貴方との婚約の件

なかった事に
して下さる

どう言う事だ！

この数日間連絡も取れず
僕がどれ程の心配したか

今日ようやく
会えたかと思えば

婚約破棄!?

学生の恋愛ごっこ
をしているんじゃないんだぞ
一体君は何を考えているんだ！

式のキャンセル料などは
こちらが負担しますので

そういう話を
しているんじゃない！

私の要件は以上です

それでは失礼します

本当に

ご迷惑をお掛けしました

ま、待ってください

こんなの納得出来ない
もう一度話し合おうよ!

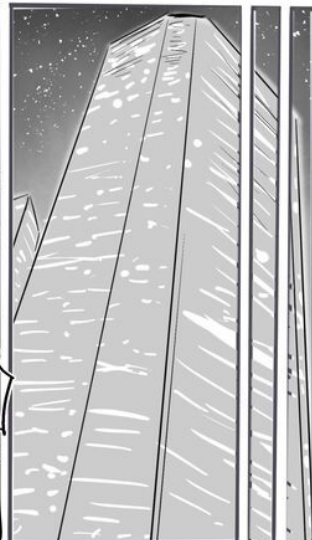
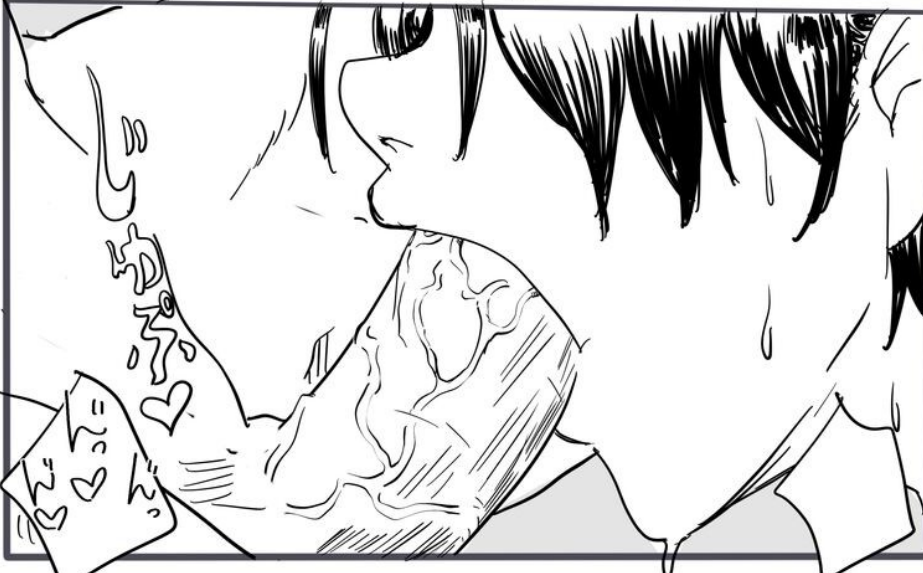
私達もう会わない
方がいいと思う

貴方なら
もつと素敵な人を
捕まえられるわ

そんな
君以上の人なんて

私忙しいので
これで

さよなら誠司さん



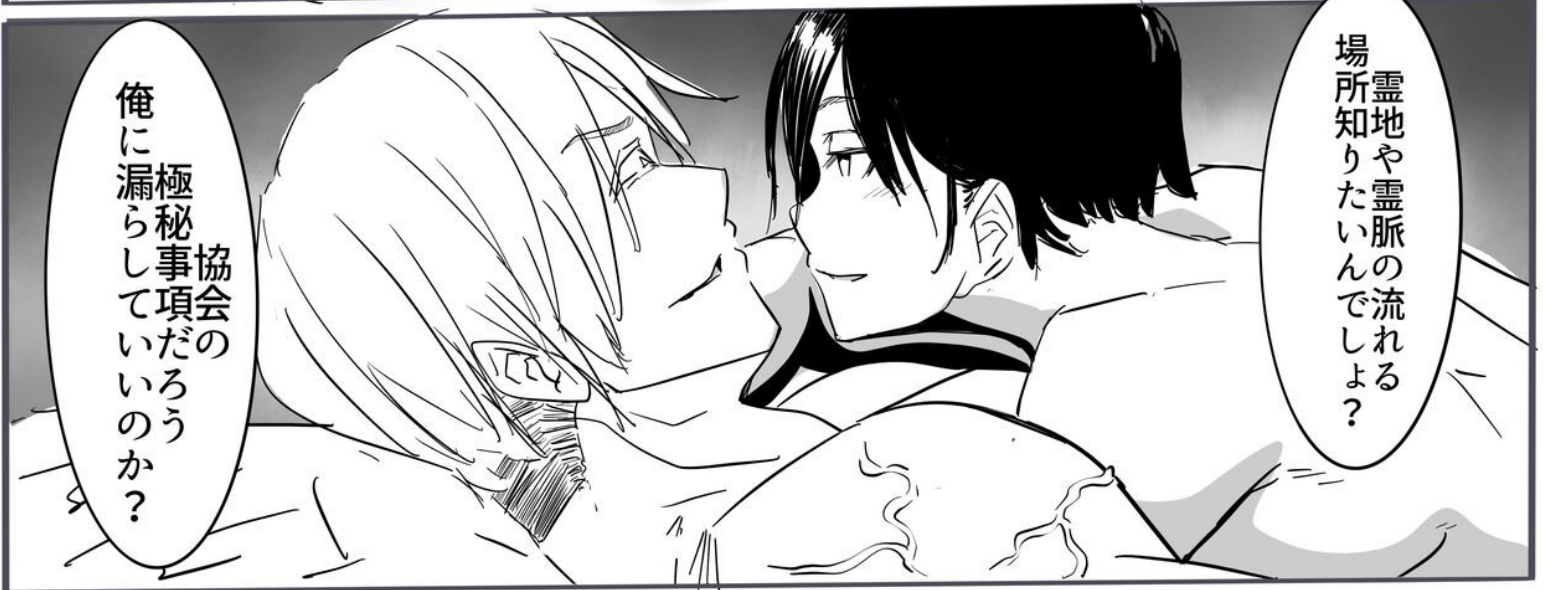


退魔協会に
戻るわ



これからどうする
つもりだ

本当に別れて
くるとはなあ



霊地や霊脈の流れる
場所知りたいでしょ？

協会の
極秘事項
俺に漏らしていいのうか？



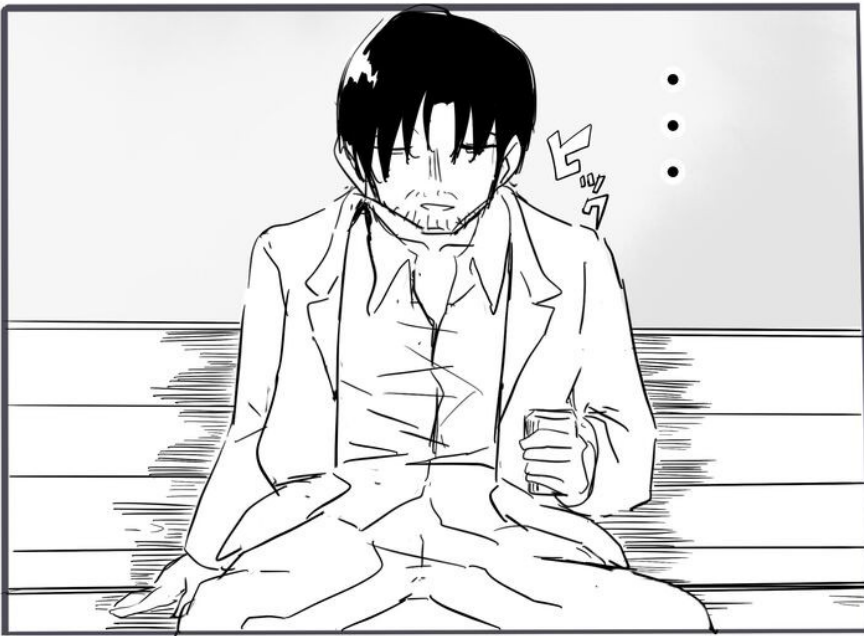
言わなくっても

わかるでしょ♡



何が望みだ？

もちろんタダじゃ無いわよ♡



それから数年



侑子から
別れを告げられた
あの日から

何も上手く
いかなかった

もう何もする
気力が起きない

生きる事さえも



あの豊満な胸は



あれは...



え...



侑子は僕の女神だったのに

一体どうして...





は、ははっ・・・
一体どこのどいつだ



えええ

そうよ



妊娠・・・

しているのか？



やめて・・・

せ、誠司さん・・・

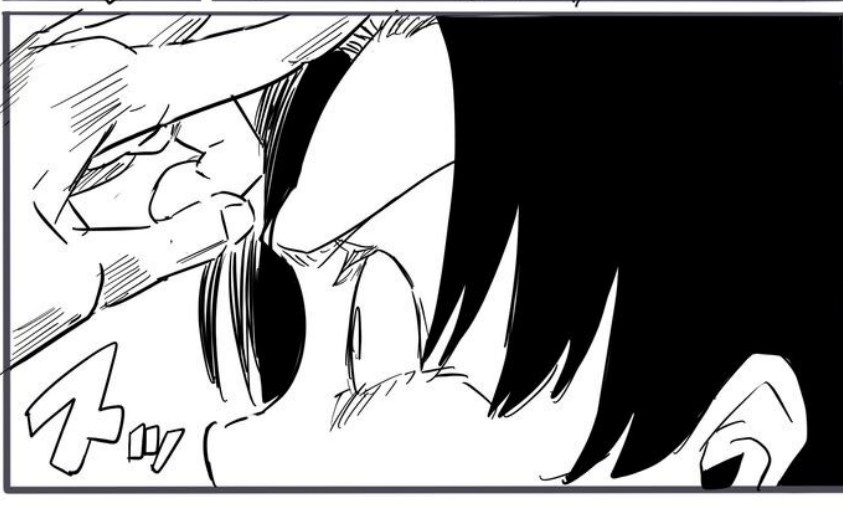
僕の侑子を
汚しやがって



!?

僕の女神に
勝手な真似をしたのは

僕愛するの侑子に・・・



アッ



いつ痛っ・・・

な、なんだ
お前は？



はぶあつ



ひいひい
誰か助けてくれー

何だありや
変質者か？



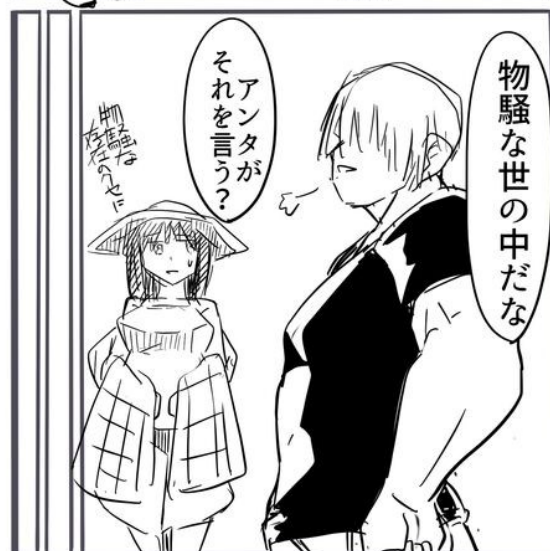
殺すぞ

ひい！



てえめえ・・・

俺の女に
何してんだコラっ



物騒な世の中だな

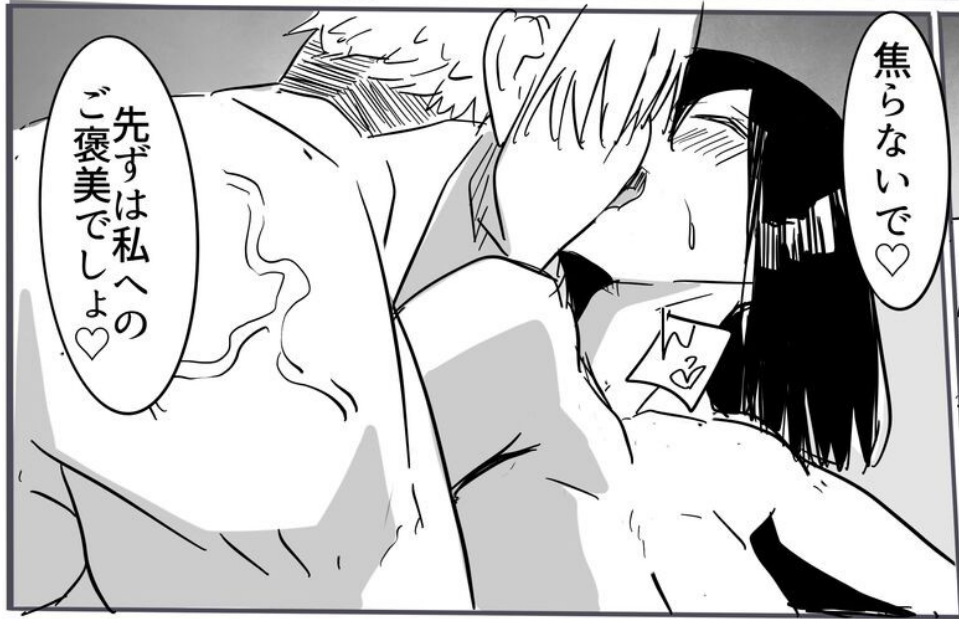
アンタが
それを言う？

物騒な世の中



あん♡
赤ちゃんいるんだから
もつとゆつくり♡

俺とお前の子だ
そんなやわじやねーだろ



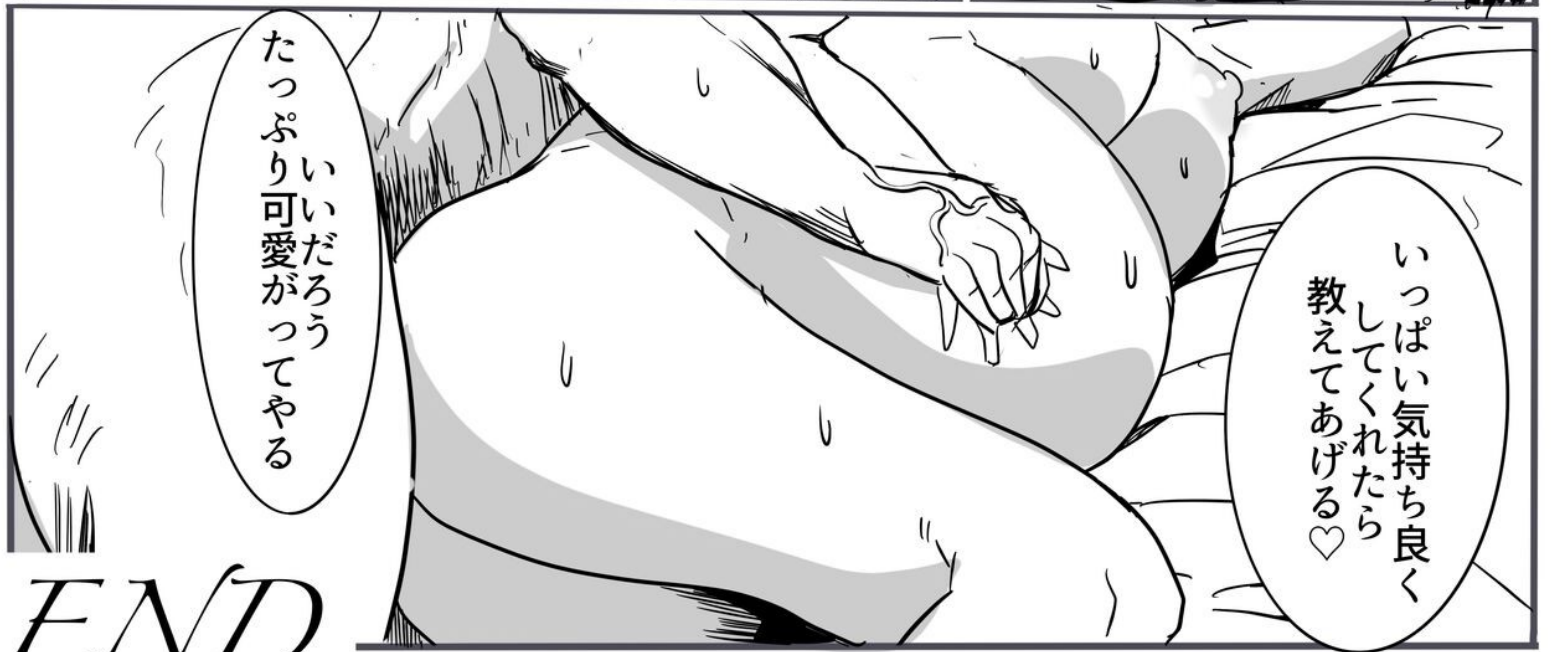
先ずは私への
ご褒美でしょ♡

焦らないで♡



本当か！
どこだ？

そう言えば霊地と霊脈の場所
調べてきたわよ♡



たっぷりいいだろう
たっぷり可愛がつてやる

いっぱい気持ち良
しくくれたら
教えてあげる♡

END

